

私が創る自然浴

取付説明書 — SA柱・アルミ柱 —

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、あなたや他の人々の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容(指示)にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。

※

- 取付説明の内容全体(個々の説明枠)にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



注意

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- シーリング材は現場で手配してください。
- 施工工事を確実にを行うため、下記の「工事区分表」で担当する施工範囲と施工工程を確認してください。
- 担当工事が終了後、次工程の工事担当者に取付説明書を渡して引継ぎを行ってください。
- 施工手順は、「取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。

工事区分表

施工工程	施工範囲	施工担当者
柱ユニット工事	SA柱・アルミ柱の施工 1.柱本体の建込み 2.梁固定金具と幕板Bの取付け 3.梁スリーブの取付け 4.梁の取付け 5.梁カバーの取付け 6.梁掛け部品の取付け 7.柱キャップの取付け 8.ウッド調幕板Bパネルの取付け 9.基礎部コンクリートの打設	販売店

取付説明書区分表

施工手順	使用する取付説明書	取説コード
柱の建て込み、幕板B、梁スリーブ	・私が創る自然浴 ーSA柱・アルミ柱ー	E179
梁用屋根部品の組付け	・私が創る自然浴 ースカイエール梁用屋根部品ー	E159
梁の取付け、梁カバー、梁掛け部品	・私が創る自然浴 ーSA柱・アルミ柱ー	E179
柱キャップ、ウッド調幕板Bパネル 基礎コンクリート打設、	・私が創る自然浴 ーSA柱・アルミ柱ー	E179
表面仕上げ	・私が創る自然浴 ースカイエール塗り仕上げー	E181
	・私が創る自然浴 ースカイエールタイル仕上げー	E180

<施工上のご注意>

⚠ 注意

- 施工工事の担当範囲に未施工箇所がないことを十分に確認したうえで、取付説明書を次工程の担当者に渡してください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事について>

⚠ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
- コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

<左官工事について>

⚠ 注意

- SAボードは雨に濡らさないようにしてください。SAボードを水で濡らすと変形やクラックの原因になります。

■梱包明細表

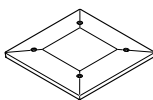
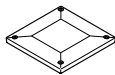
①SA柱セット

名 称	略 図	員 数		
		H26	H29	H32
SA柱本体		1	1	1
アンカー棒		1	1	1
取付説明書	—	1	1	1
取扱説明書	—	1	1	1

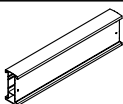
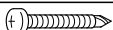
②アルミ柱セット

名 称	略 図	員 数		
		H26	H29	H32
アルミ柱本体		1	1	1
アンカー棒		1	1	1
取付説明書	—	1	1	1

③SA柱・アルミ柱キャップセット

名 称	略 図	員 数	
		SA柱用	アルミ柱用
SA柱キャップ		1	—
アルミ柱キャップ		—	1
③-① φ4×20サラタッピンネジ2種 G=5		4	4

④幕板Bセット

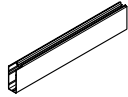
名 称	略 図	員 数				
		L1680	L2190	L2620	L3560	L4500
幕板B		1	1	1	1	1
幕板スリーブ		2	2	2	2	2
④-① φ5×16ナベピアスネジ		8	8	8	8	8
④-② φ5×70ナベピアスネジ		8	8	8	8	8

⑤ウッド調幕板Bパネルセット

名 称	略 図	員 数				
		L1680	L2190	L2620	L3560	L4500
ウッド調幕板Bパネル		1	1	1	1	1

■梱包明細表 つづき

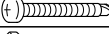
6 梁セット

名 称	略 図	員 数	
		2本入	3本入
梁		2	3
梁カバー		2	3

7 梁取付部品セット

名 称	略 図	員 数	
		梁2本用	梁3本用
スリーブ材		2	3
梁固定金具		2	3
梁端部カバー		2	3
7-① φ4×10トラスタッピン ネジ3種 D=8		2	3

7 つづき

名 称	略 図	員 数	
		梁2本用	梁3本用
7-② φ4×30トラスタッピン ネジ3種 D=8		2	3
7-③ φ5×16ナベピラスネジ※1		9	13
7-④ φ5×16ナベピラスネジ※2		9	13
7-⑤ φ5×70ナベピラスネジ		10	15
7-⑥ φ6×70六角タッピンネジ1種		4	6
7-⑦ M6平座金		4	6

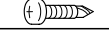
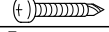
※1 色なしまたは色付きネジ

※2 頭色付きネジ

8 梁取付部品セット異形敷地用

名 称	略 図	員 数	
		梁2本用	梁3本用
スリーブ材		2	3
梁角度調整材		2	3
梁固定金具		2	3
梁端部カバー		2	3
梁固定金具異形敷地用		2	3

8 つづき

名 称	略 図	員 数	
		梁2本用	梁3本用
梁角度調整材カバー		4	6
8-① φ4×10トラスタッピン ネジ3種 D=8		6	9
8-② φ4×30トラスタッピン ネジ3種 D=8		2	3
8-③ φ5×16ナベピラスネジ※1		9	13
8-④ φ5×16ナベピラスネジ※2		9	13
8-⑤ φ5×16ナベピラスネジ※3		9	13
8-⑥ φ5×35ナベピラスネジ		9	13
8-⑦ φ5×50ナベピラスネジ		9	13
8-⑧ φ6×70六角タッピンネジ1種		4	6
8-⑨ M6平座金		4	6

※1 色なしネジ

※2 色なしまたは色付きネジ

※3 頭色付きネジ

9 梁掛け部品セット

名 称	略 図	員 数	
		梁2本用	梁3本用
スリーブ材		1	
スリーブ材 小		1	
9-① φ5×50ナベピラスネジ		9	
9-② φ5×16ナベピラスネジ		7	

オプション

INDEX

1 基本寸法と各部名称	6
1. 基本寸法と各部名称	6
2 柱の位置出し	8
1. 基礎工事	8
3 柱本体の施工	9
1. 柱本体の建込み	9
2. 梁固定金具と幕板Bの取付け	10
3. 梁スリーブの取付け	12
4. 梁の取付け	14
5. 梁カバーの取付け	16
6. 梁掛け部品の取付け オプション	17
7. 柱キャップの取付け	19
8. ウッド調幕板Bパネルの取付け	19
9. 基礎部コンクリートの打設	20

1 基本寸法と各部名称

1. 基本寸法と各部名称

1-1 SA柱・アルミ柱

(1) SA柱

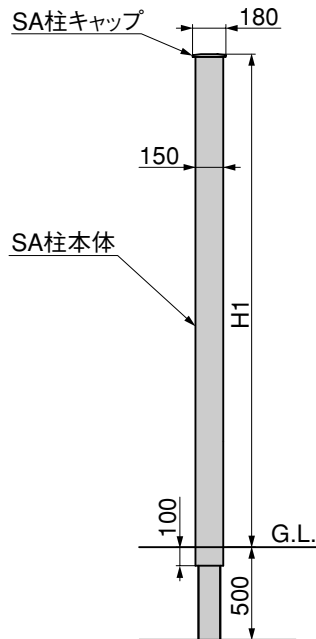


表1-1 SA柱高さ寸法

	H1
H26	2610
H29	2910
H32	3210

(2) アルミ柱

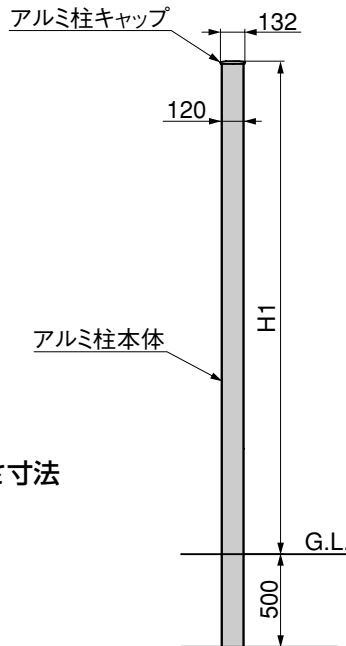


表1-2 アルミ柱高さ寸法

	H1
H26	2610
H29	2910
H32	3210

(3) 正面図 ※ () 内寸法はアルミ柱仕様寸法です。

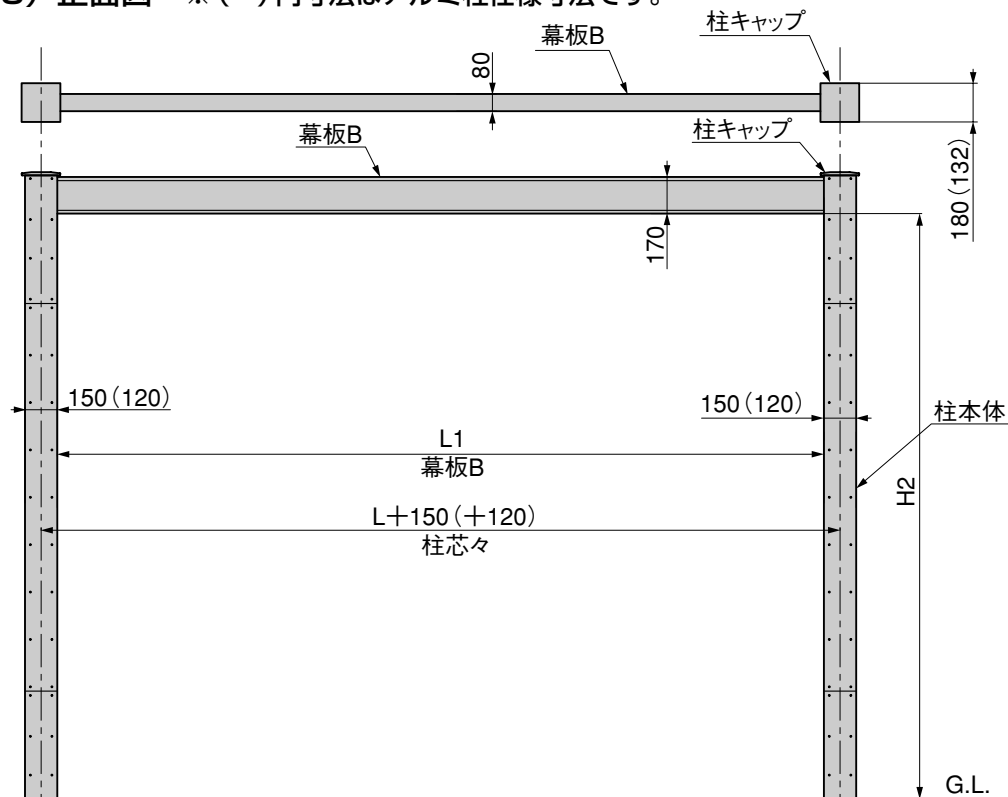


表1-3

	L1
W1680	1680
W2190	2190
W2620	2620
W3560	3560
W4500	4500

表1-4

	H2
H26	~2417
H29	~2717
H32	~3017

1-2 梁仕様

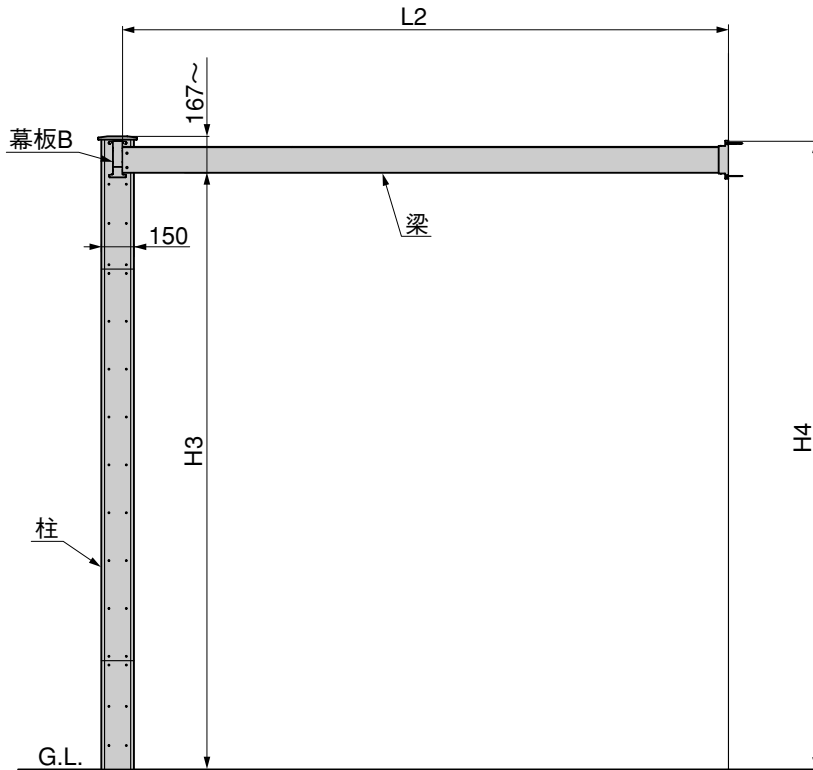


表1-5 梁寸法

	L2
3尺	985
6尺	1885
9尺	2785
12尺	3685

表1-6 梁高さ寸法

	H3	H4
H26	~2443	~2590.5
H29	~2743	~2890.5
H32	~3043	~3190.5

1-3 異形敷地仕様

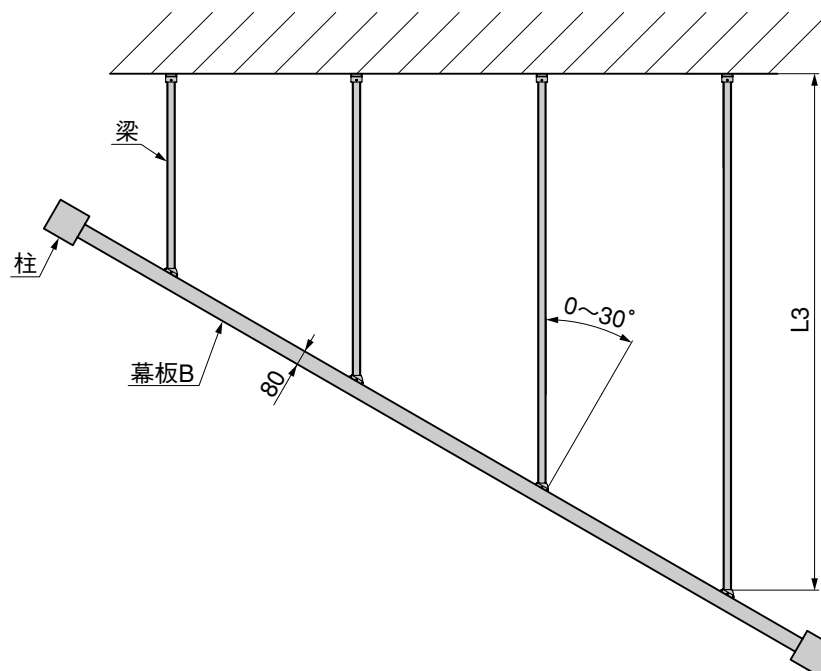


表1-7 異形梁寸法

	L3
3尺	~970
6尺	~1870
9尺	~2770
12尺	~3670

2 柱の位置出し

1. 基礎工事 販 工事 ※図はSA柱を示します。アルミ柱も同様の作業です。

1-1 梁を取付ける場合

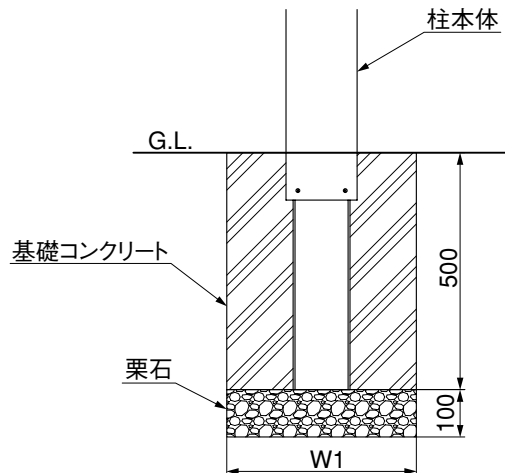


図1-1 正面・側面G.L.仕上げ基礎寸法

表1-1 SA柱・アルミ柱基礎寸法表／W1寸法表

単位：mm

タイプ	間口 屋根出幅	1間	1.5間	2間	2.5間 通し	3間 (1.5×1.5間)	タイプ	間口 屋根出幅	1間	1.5間	2間	2.5間 通し
600 タイプ	3尺	□300				□300	1500 タイプ	3尺	□300			□300
	4尺							4尺				
	5尺							5尺				
	6尺							6尺	□300			X
	7尺							7尺				
	8尺							8尺				
	9尺							9尺				
	10尺	□500				□500						

①基礎孔を掘り、栗石をひいてください。

ポイント

- 幕板を取付けても、同じ寸法です。
- 基礎の芯々寸法は「1.基本寸法と各部名称」を参照してください。

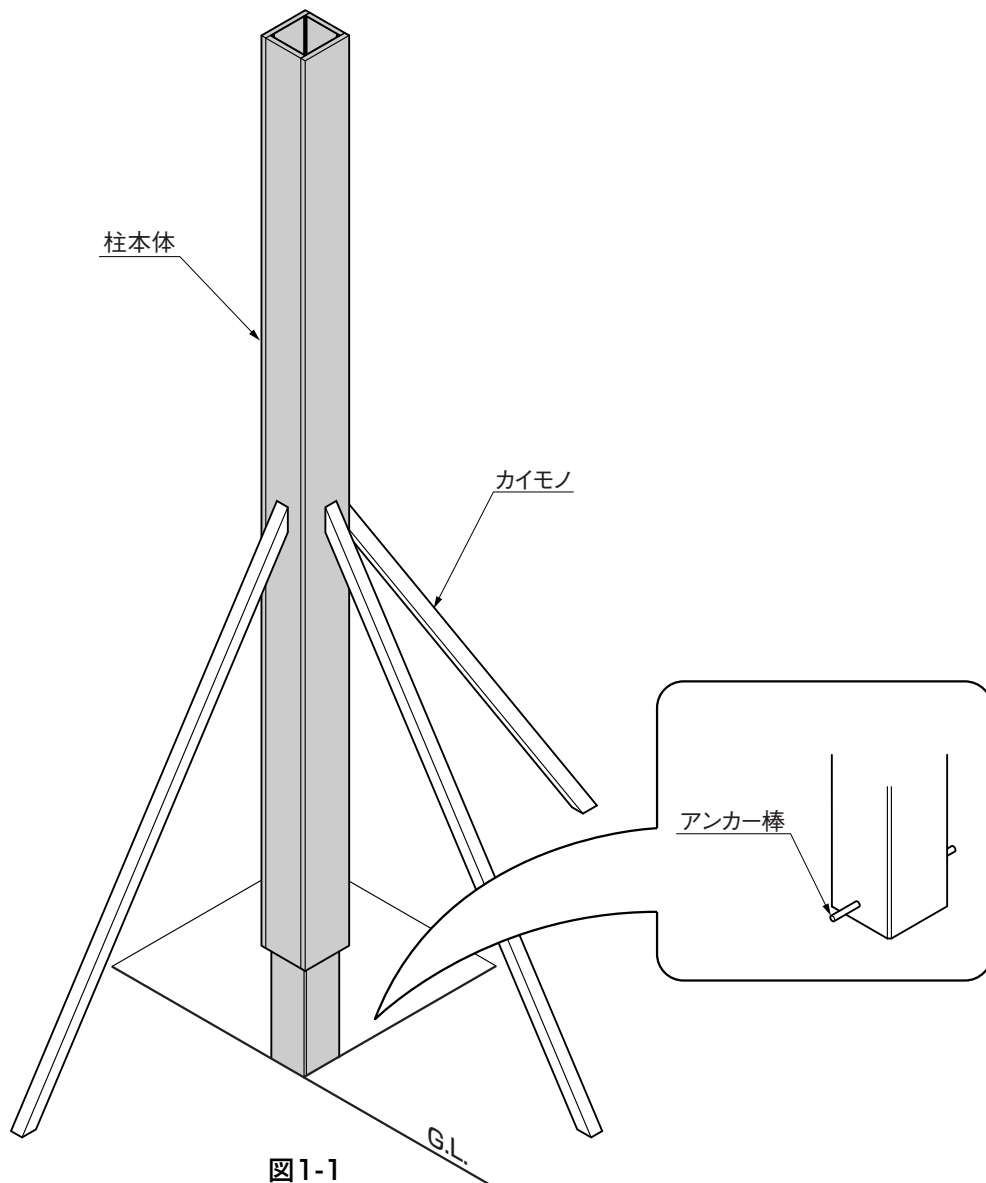
3 柱本体の施工

1. 柱本体の建込み

販

工事

※図はSA柱を示します。アルミ柱も同様の作業です。



- ① 柱本体にアンカー棒を差込んでください。
- ② 図1-1のように、柱本体を基礎孔に立ててください。
- ③ 柱本体が倒れないように、カイモノ等で仮固定してください。

ポイント

- SA柱には表面仕上げ作業があります。表面仕上げ作業まで、SAボードの表面を濡らさないようにしてください。

補足

- 柱本体を仮固定するカイモノ等は、現場調達してください。

2. 梁固定金具と幕板Bの取付け 販 工事

※図はSA柱を示します。アルミ柱も同様の作業です。

2-1 取付け位置の確認

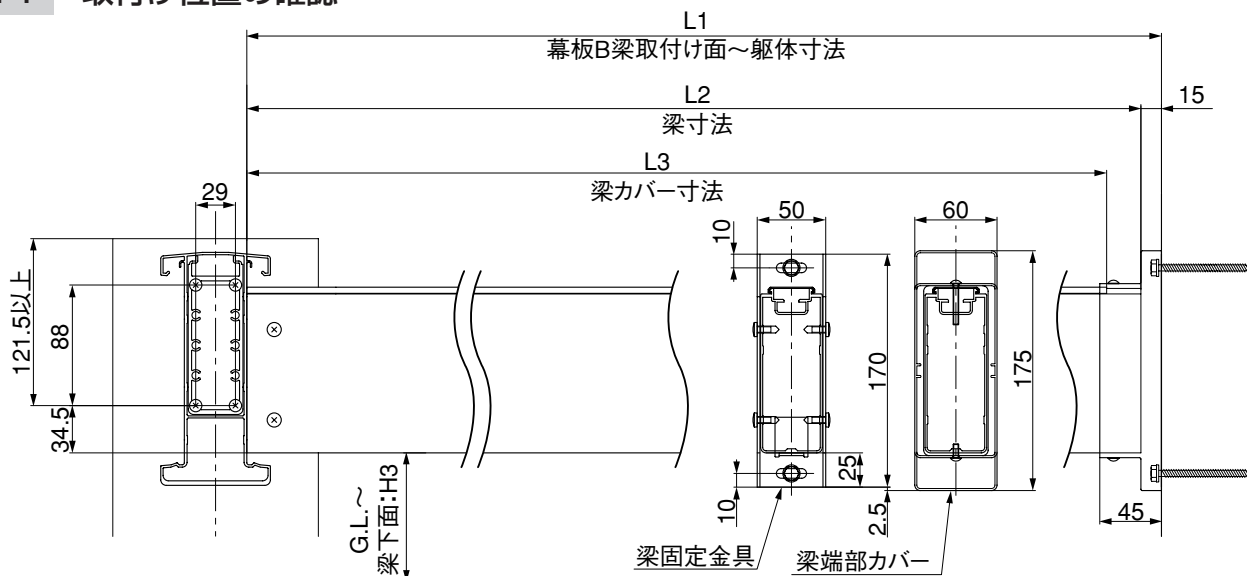


图2-1

2-2 梁固定金具の取付け

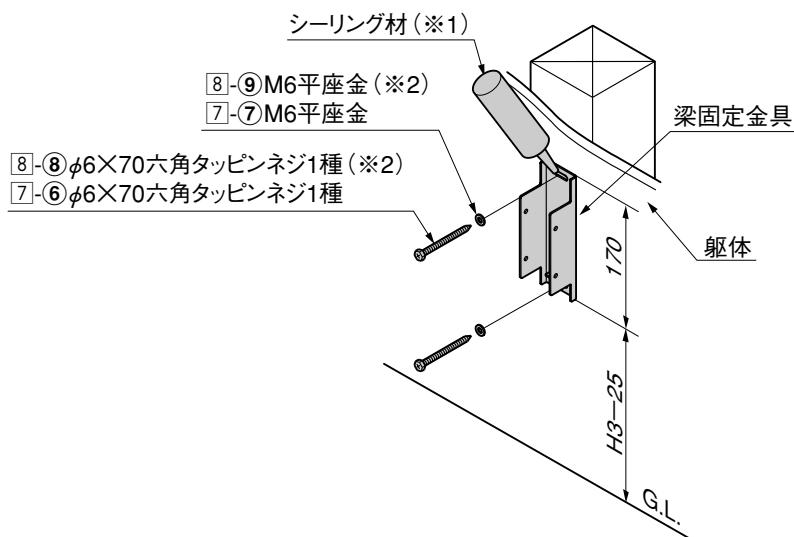


図2-2 梁固定金具の取付け

- ①「1 基本寸法と各部名称 1. 基本寸法と各部名称」を参照して、梁固定金具を躯体に⑦-⑥、⑦-⑦または、⑧-⑧、⑧-⑨で取付けてください。(図2-2参照)
- ②躯体にシーリングしてください。

⚠ 注意

- 梁固定金具は、必ず躯体の柱・間柱等の構造材に取付けてください。部材が落下してケガをするおそれがあります。

ポイント

- 躯体に必ずシーリングをしてください。
- シーリング材は現場で手配してください。(※1)
- ※2は異形敷地仕様の場合です。
- $H3+172.5=H4$ です。

2-3 幕板Bの取付け

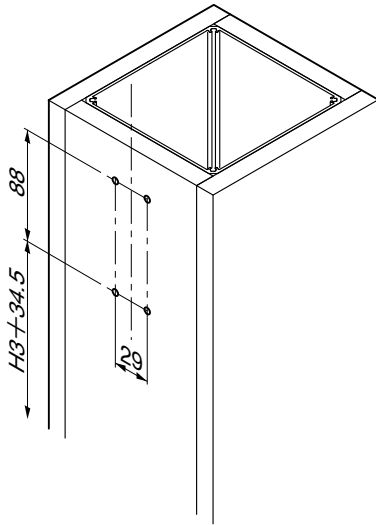


図2-3

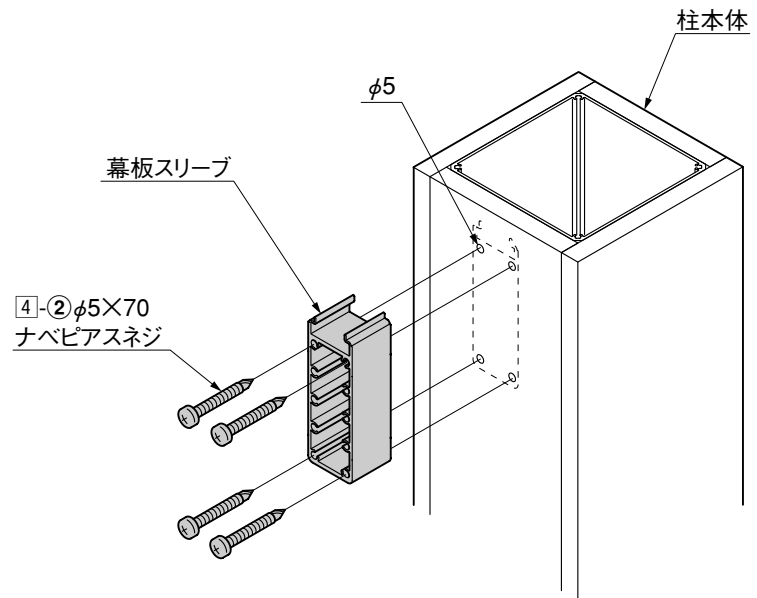


図2-4 幕板スリーブの取付け

① 梁の取付け位置から幕板スリーブの取付け位置を出し、 $\phi 5$ の孔をあけてください。(図2-1、図2-3参照)

ポイント

- $\phi 5$ の孔はSAボードのみにあけてください。
- アルミ柱には孔加工は必要ありません。

② 幕板スリーブを柱本体に4-②で取付けてください。(図2-4参照)

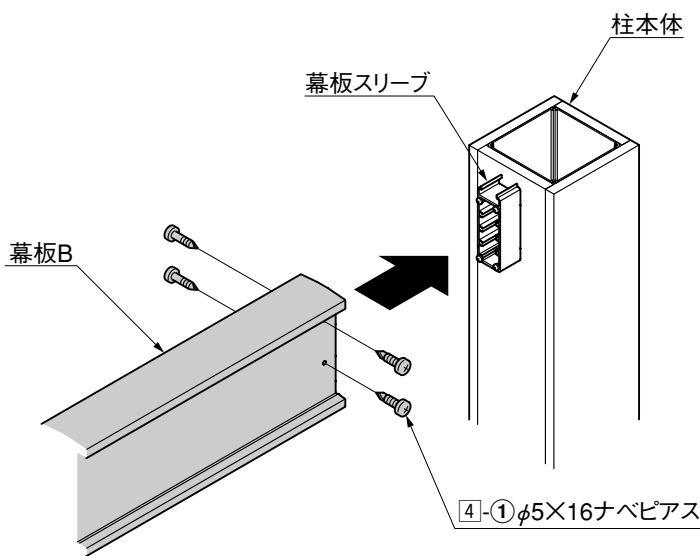


図2-5

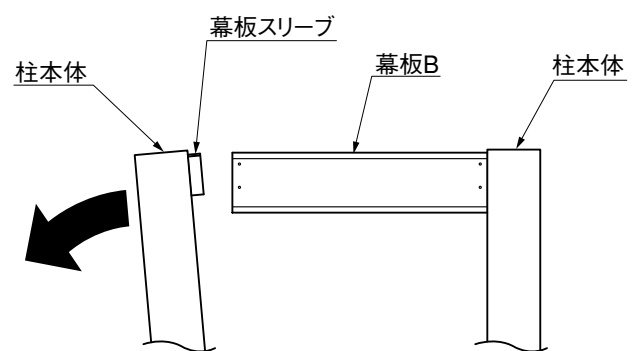


図2-6

③ 幕板Bの横から幕板スリーブをはめ込み4-①で取付けてください。(図2-5参照)

ポイント

- 片側の幕板スリーブを先にはめ込み、もう片側の柱を広げるようにして幕板スリーブをはめ込んでください。(図2-6参照)

3. 梁スリーブの取付け 販 工事 ※図はSA柱を示します。アルミ柱も同様の作業です。

3-1 梁スリーブ取付け位置の確認

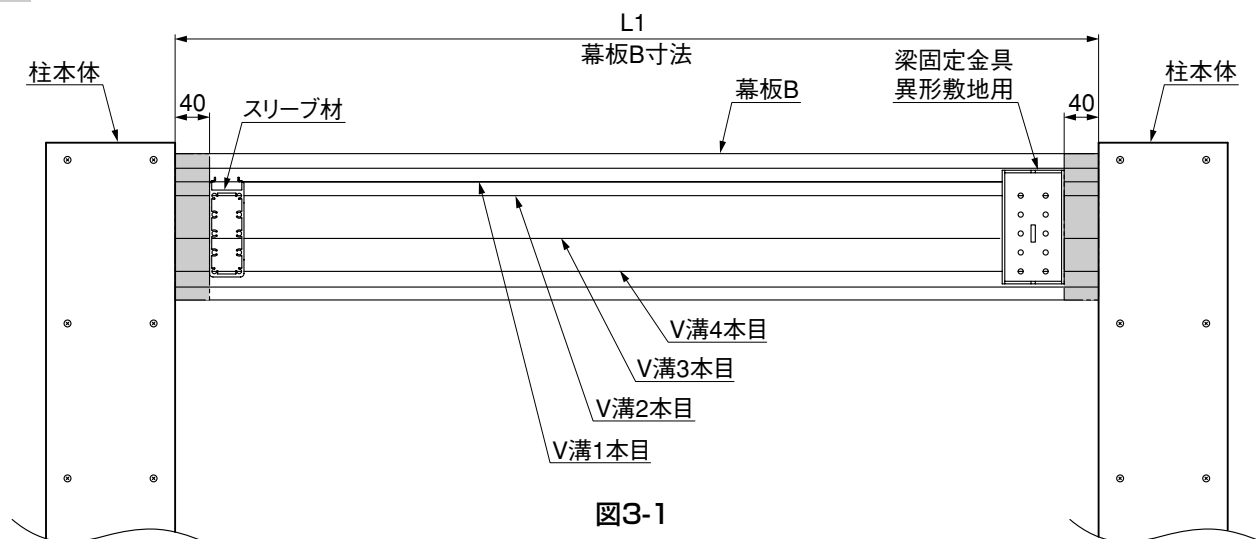


図3-1

表3-1

	L1		L1
W1680	1680	W3560	3560
W2190	2190	W4500	4500
W2620	2620		

3-2 梁スリーブの取付け

(1) 通常施工の場合

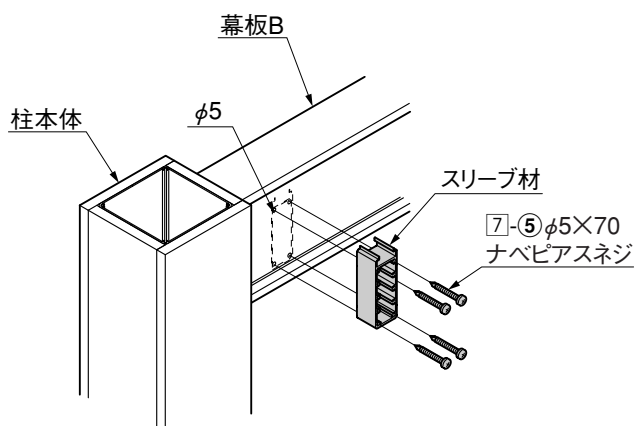


図3-2

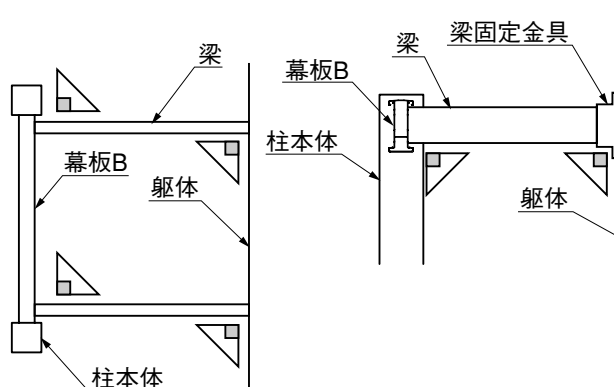


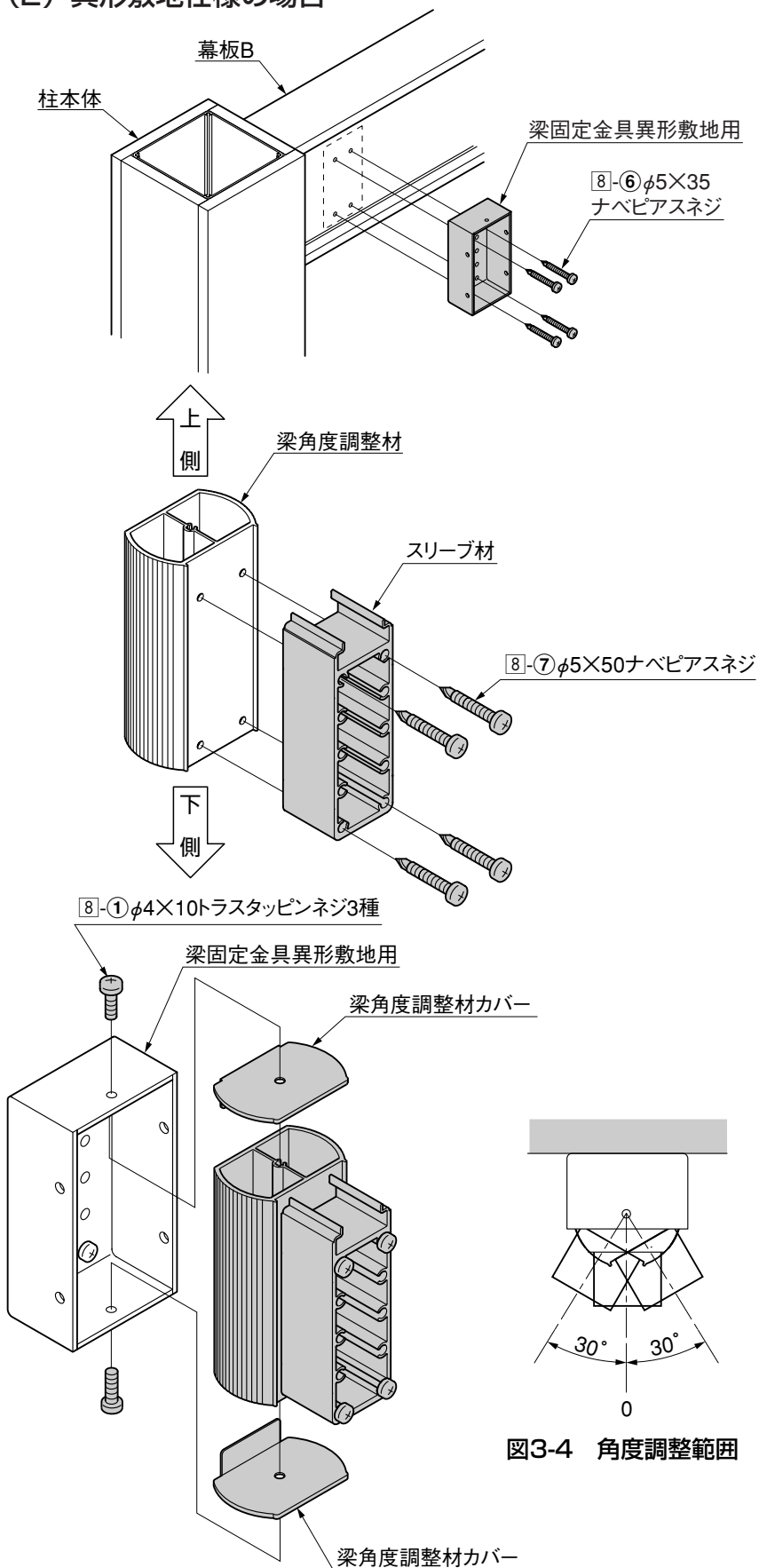
図3-3

① スリーブ材を幕板Bに取付けてください。(図3-2参照)

ポイント

- 幕板Bには4本のV溝があります。上から2番目と4番目のV溝を使用して、スリーブ材を取付けてください。(図3-1参照)
- 梁を取付けるためのスリーブ材と先に取付けた梁固定金具が躯体・幕板Bに対して垂直になるようにスリーブ材を取付けてください。(図3-3参照)

(2) 異形敷地仕様の場合



- 1 梁固定金具異形敷地用を幕板Bに8-6で取付けてください。

ポイント

- 幕板Bには4本のV溝があります。上から2番目と4番目のV溝を使用して梁固定金具異形敷地用を取付けてください。(図3-1参照)

- 2 スリーブ材を梁角度調整材に8-7で取付けてください。

補足

- 梁角度調整材には上下があります。

- 3 梁角度調整材カバーを仮組して、梁固定金具異形敷地用に8-1で取付けてください。

ポイント

- 梁角度調整材は最大片側で30°の角度にすることができます。(図3-4参照)
- 梁角度調整材の縦溝は、1目盛り当たり5°です。

4. 梁の取付け

販 工事

※図はSA柱を示します。アルミ柱も同様の作業です。

4-1 通常施工の場合

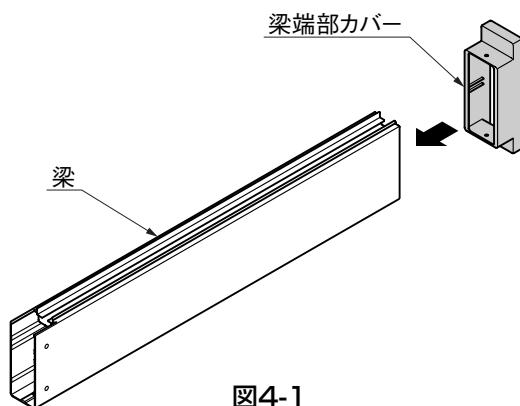


図4-1

ポイント

- 屋根を取付ける場合は、柱固定金具裏板を梁に取付けてください。
- 屋根の取付けは、「スカイエール 梁用屋根部品取付説明書(E159)」を参照して、行ってください。

① 梁端部カバーを梁に通してください。(図4-1参照)

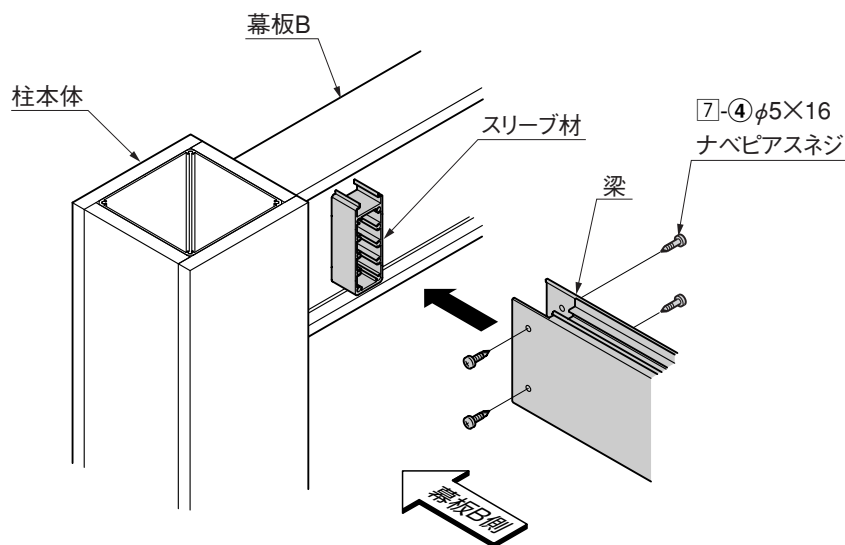


図4-2

② 梁の幕板B側をスリーブ材にはめ込み、家側を梁固定金具に引っ掛けて、梁を[7]-④、[7]-③で取付けてください。(図4-2、図4-3参照)

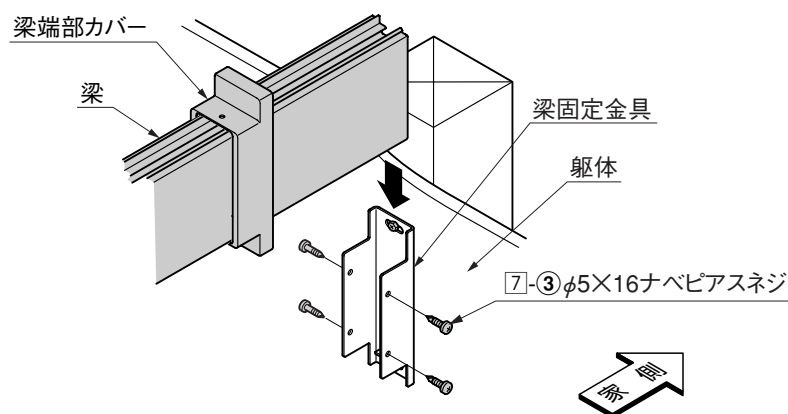


図4-3

4-2 異形敷地仕様の場合

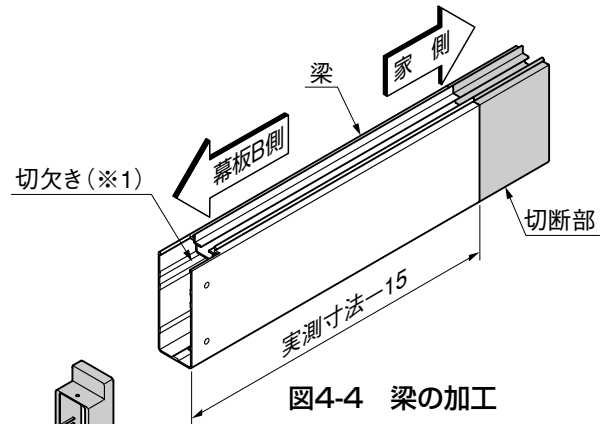
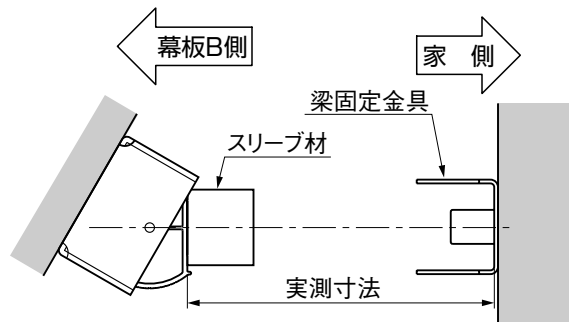


図4-4 梁の加工

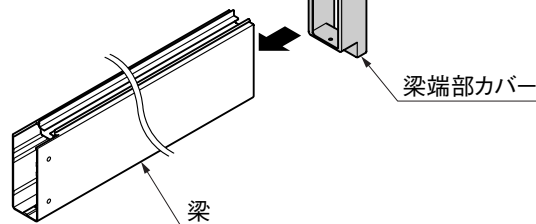


図4-5

① 梁固定金具からスリーブ材までを実測して、梁を実測寸法から-15mmで切断してください。(図4-4参照)

ポイント

- 梁は切欠き(※1)の無い家側から切断してください。(図4-4参照)
- 切断は、梁1本ずつ実測して行ってください。

② 梁端部カバーを梁に通してください。(図4-5参照)

ポイント

- 屋根を取付ける場合は、柱固定金具裏板を梁に取付けてください。
- 屋根の取付けは、「スカイエール梁用屋根部品取付説明書(E159)」を参照して、行ってください。

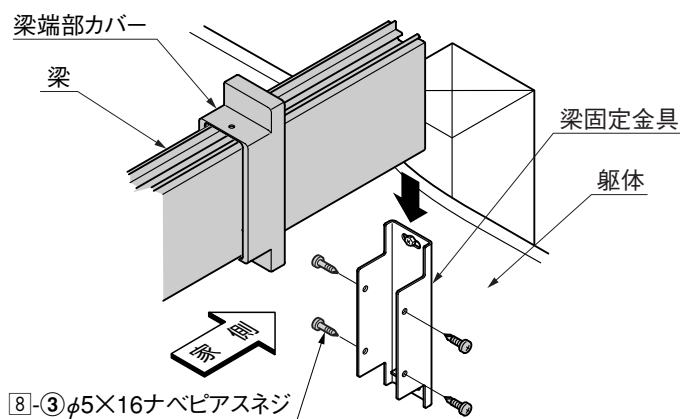


図4-6

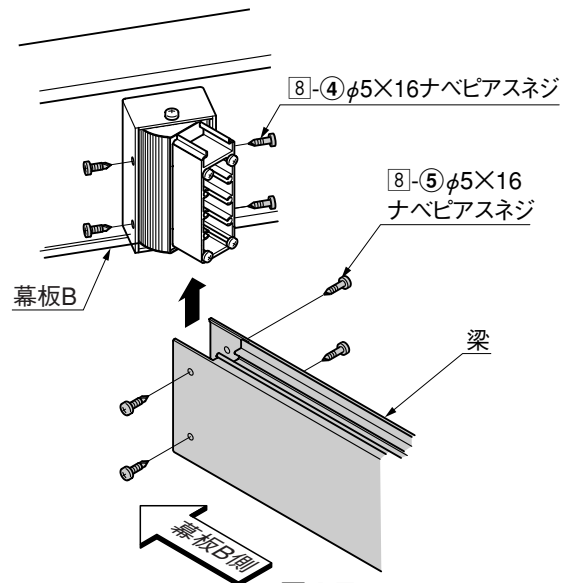


図4-7

③ 梁の家側を梁固定金具に引っ掛けて、幕板B側をスリーブ材にはめ込み、梁を8-③、8-④、8-⑤で取付けてください。(図4-6、図4-7参照)

5. 梁カバーの取付け

販 工事

※図はSA柱を示します。アルミ柱も同様の作業です。

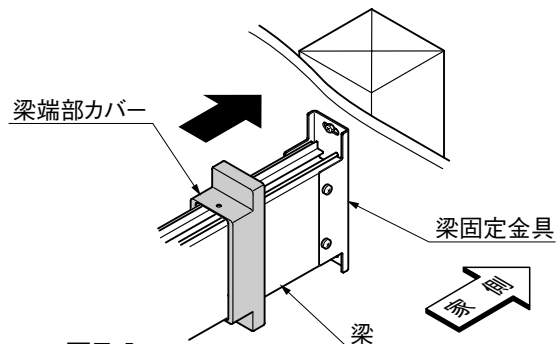


図5-1

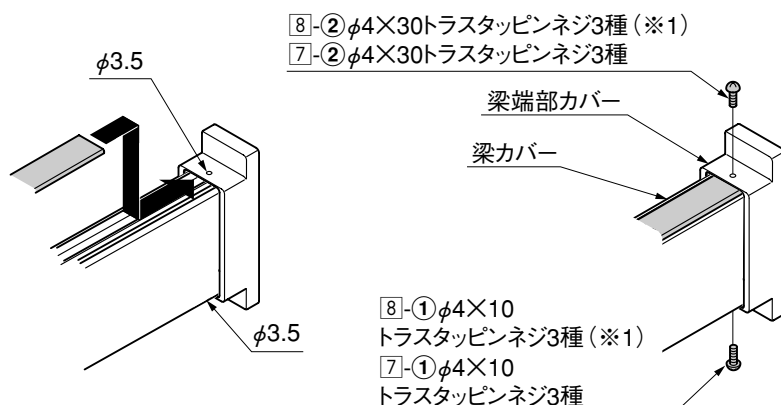


図5-2

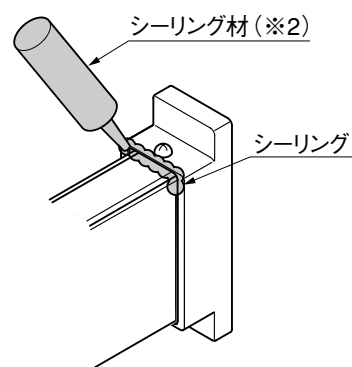


図5-3

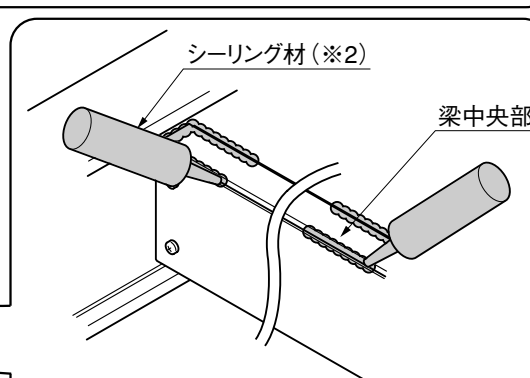
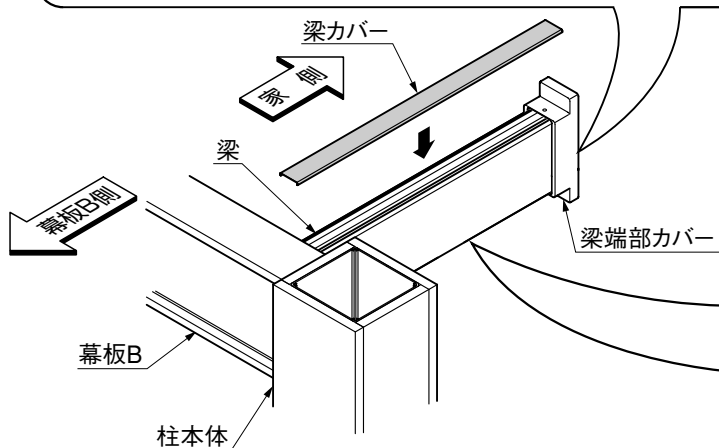


図5-5

- ① 梁端部カバーを梁固定金具にかぶせてください。(図5-1参照)
- ② 梁端部カバーに梁端部カバー固定用のφ3.5の孔をあけてください。(図5-2参照)
- ③ 梁カバーを梁へはめ込み、梁端部カバーに[7]-②、[7]-①または、[8]-①、[8]-②で固定してください。(図5-3参照)
- ④ 梁端部カバーと梁カバーにシーリングしてください。(図5-4、図5-5参照)

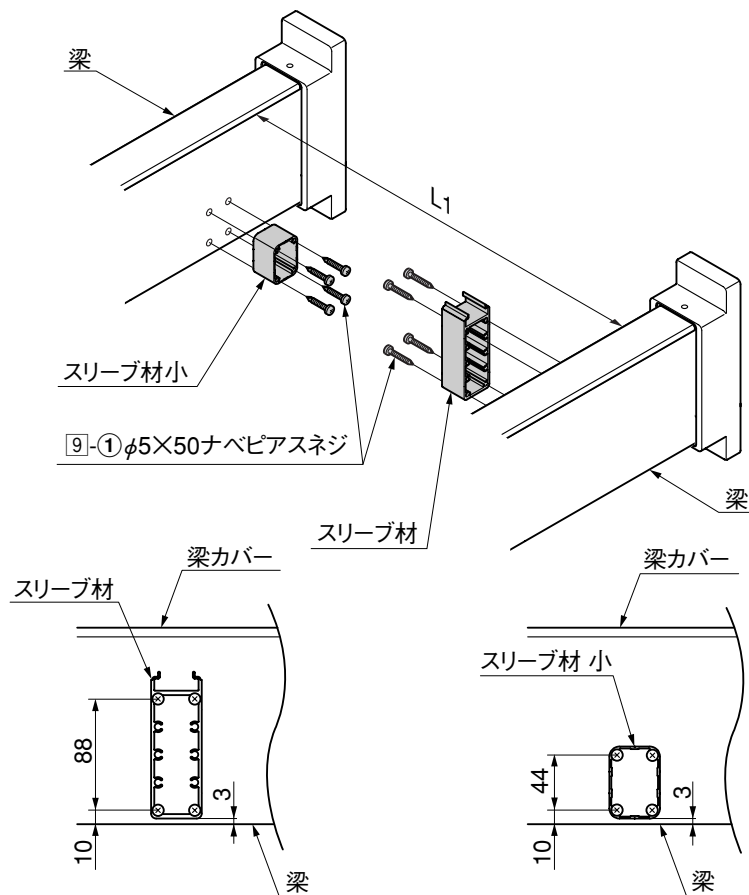
ポイント

- ※1は異形敷地仕様の場合です。
- 指定の箇所には必ずシーリングをしてください。
- シーリング材は現場で手配してください。(※2)
- 梁カバーは、後のオプション取付け等を考慮して緩めのかん合となっていますので梁中央部でシーリングを行い梁カバーを固定してください。(図5-5参照)
- 図5-5は通常施工の場合です。異形敷地仕様の場合も同様の作業を行なってください。

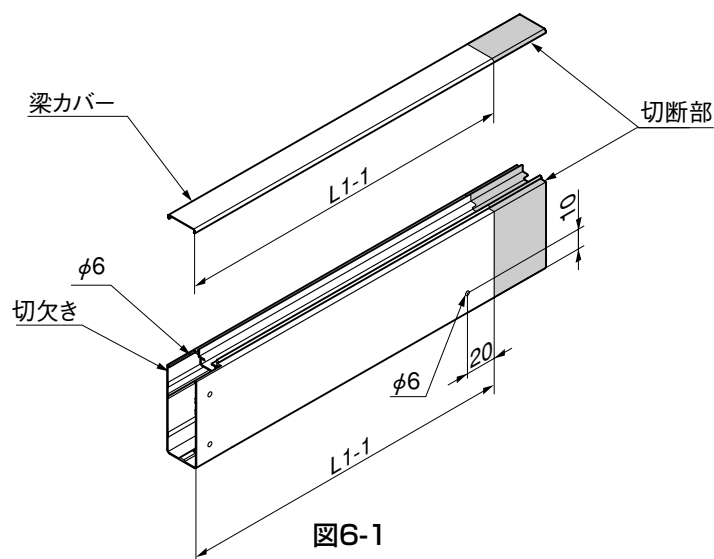
6. 梁掛け部品の取付け

販 工事

オプション



❶ スリーブ材とスリーブ材 小を⑨-①で梁に取付けてください。



❷ 梁と梁カバーを梁の内々寸法L1-1mmで切断してください。

ポイント

● 梁の切断は切欠きの無い側より行ってください。

❸ 切断した梁に図6-1を参照してφ6の孔をあけてください。

6. つづき

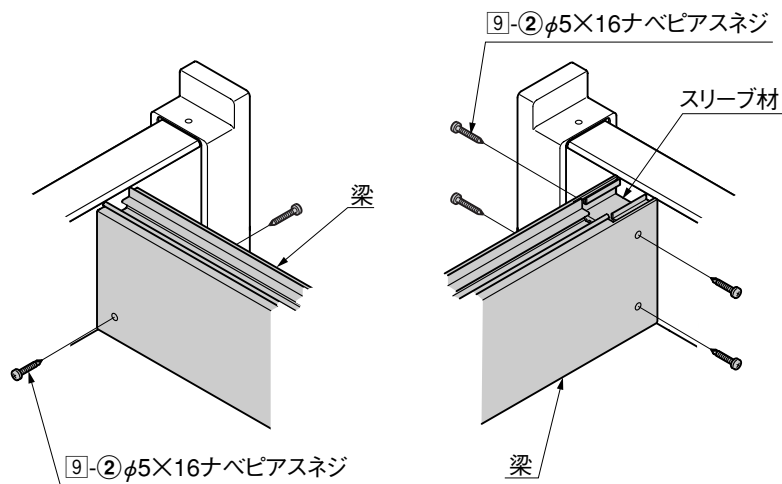


図6-2 スリーブ材 小側

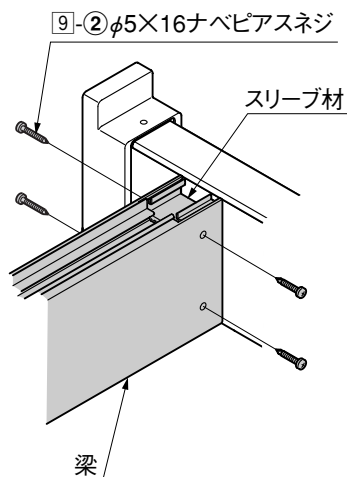
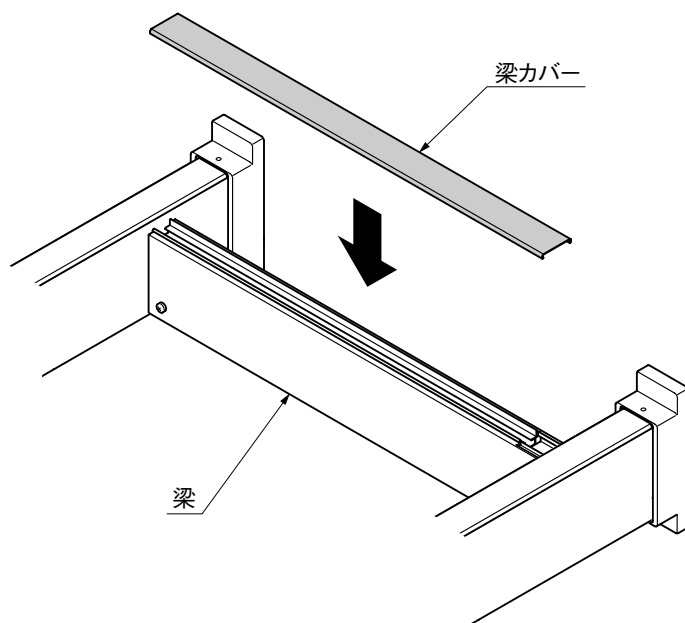


図6-3 スリーブ材側

- ④ 梁をスリーブ材、スリーブ材 小に⑨-②で取付けてください。



- ⑤ 梁に梁カバーを取付けてください。

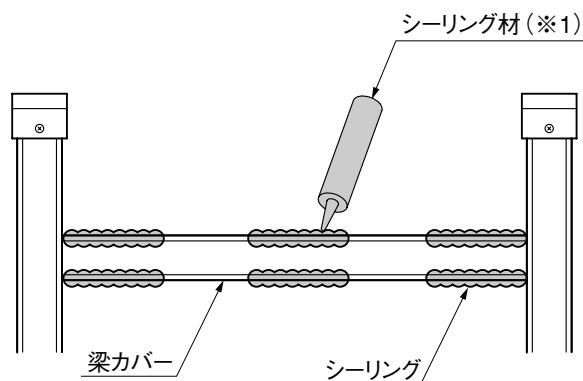


図6-4

- ⑥ 図6-4を参照してシーリングしてください。

ポイント

- 指定の箇所には必ずシーリングをしてください。
- シーリング材は現場で手配してください。(※1)
- 梁カバーは、後のオプション取付け等を考慮して緩めのかん合となっていますので梁中央部でシーリングを行い梁カバーを固定してください。

7. 柱キャップの取付け

販 工事

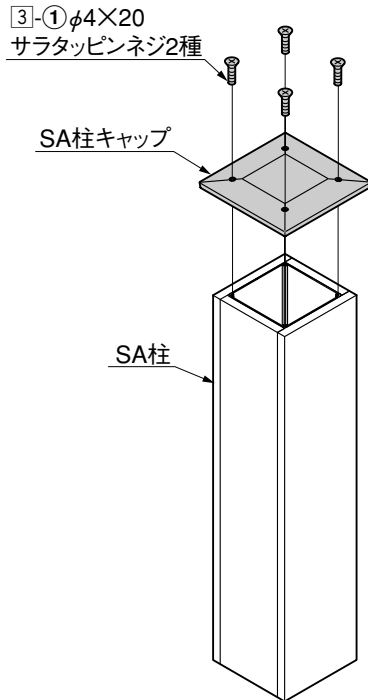


図7-1 SA柱の場合

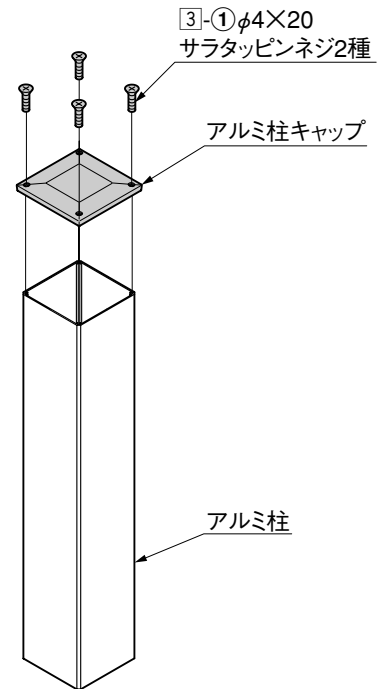


図7-2 アルミ柱の場合

①SA柱キャップ、またはアルミ柱キャップをを各柱に③-①で取付けてください。

3 柱本体の施工

8. ウッド調幕板Bパネルの取付け

販 工事

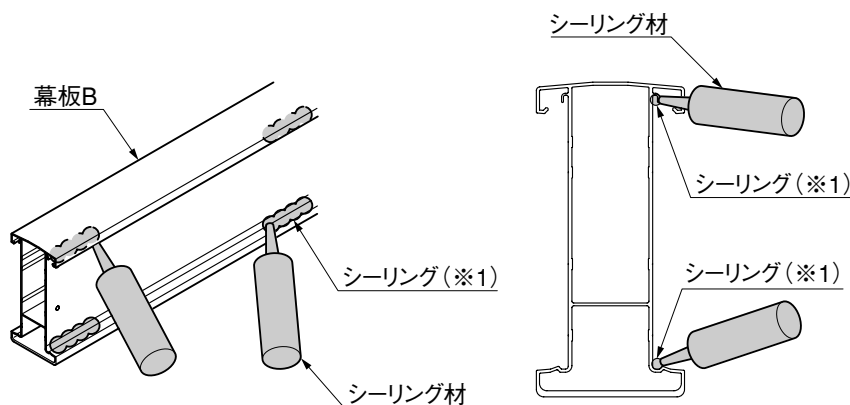


図8-1

図8-2

表8-1 幕板Bシーリング箇所

	シーリング箇所
W1680	両端を含む上下3箇所
W2190	両端を含む上下4箇所
W2620	両端を含む上下5箇所
W3560	両端を含む上下5箇所
W4500	両端を含む上下6箇所

⚠ 注意

- 指定の箇所には必ずシーリングをしてください。ウッド調幕板Bパネルが脱落するおそれがありますので目安として表8-1を参照し、シーリングしてください。

- ① 指定の箇所(※1)に約20mm程度を700mm～900mmピッチでシーリングしてください。(表8-1、図8-1、図8-2参照)

🔑 ポイント

- シーリング材は現場で手配してください。(※1)

8. つづき

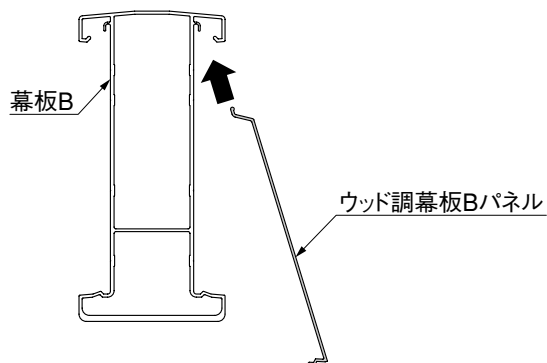


図8-3

- ② ウッド調幕板Bパネル上部を幕板Bに差込んでください。(図8-3参照)

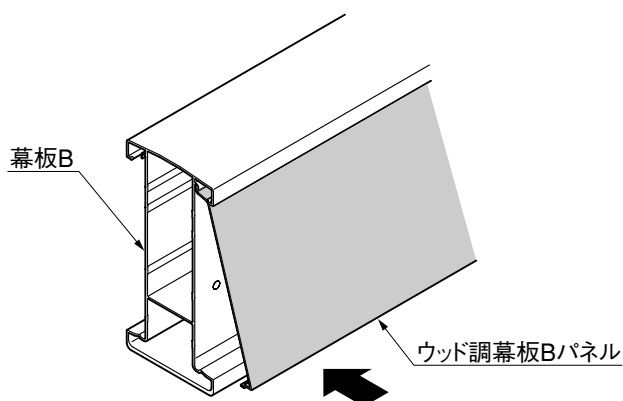
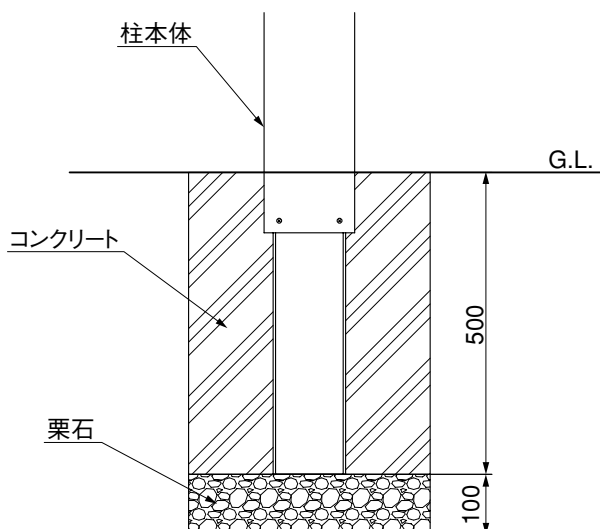


図8-4

- ③ ウッド調幕板Bパネル下部の端から端へと順々にはめ込んでください。(図8-4参照)

9. 基礎部コンクリートの打設

販 工事



- ① 基礎部コンクリートを打設してください。

取説コード

E179

UQA604601
200503A_1039